

**授業概要**

学校教育は、教師が一方的に知識や技能を教授する場ではない。子供が主体的かつ対話的、協働的に学習することにより学びの場は生成される。本授業では、学びの場を生成するための教育の方法及び技術に関する理論を学ぶと共に、活用するための実践的指導力の基盤を培う。

**授業計画**

第1回	教育の方法と技術とは何か―授業と学び―
第2回	教育方法の歴史―欧米―
第3回	教育方法の歴史―日本―
第4回	授業デザイン①―教育目標・教育内容から学習指導計画へ―
第5回	授業デザイン②―授業における教材の役割―
第6回	授業デザイン③―学習指導案の構造と作成―
第7回	授業展開の技術
第8回	総合的な学習の時間導入の意義
第9回	総合的な学習の時間の実践事例
第10回	総合的な学習の時間の指導計画
第11回	教育の技術と教育メディア
第12回	情報機器の活用と教材開発
第13回	教育評価の理論と方法
第14回	教育評価の具体事例
第15回	まとめ 教育方法の課題と展望
第16回	定期試験

**到達目標**

これからの社会を担う子供たちに求められる資質・能力を理解し、その育成するために必要な、教育の方法、教育の技術、情報機器及び教材の活用に関する知識・技能を身に付ける。また、総合的な学習の時間の意義や、実施のために必要な基礎的な能力を身に付ける。

**履修上の注意**

毎回出席することが必要。欠席をする場合は、その理由を連絡する。20分以上の遅刻は欠席として扱う。討論、模擬授業に主体的に参加すること。

**予習復習**

次時の学習への課題を適宜示す。

**評価方法**

参加態度、課題への取り組み(毎回の振り返りレポート等)40%、期末試験60%

**テキスト**

学習指導要領(文部科学省)

未来を拓く教師のわざ(一荃書房) よくわかる授業論(ミネルブア書房)